

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6~7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	スポーツ推進委員活動費	本市のスポーツ振興のため、スポーツの実技指導やスポーツイベントのボランティアとして大会運営を行う。	・研修会3回/年 113人 ・県研究大会1回/年 24人 ・中国地区大会1回/年 10人 ・スポーツイベント支援 351人	多くのスポーツ推進委員に様々な研修、スポーツイベントに参加していただき、計画を大きく上回る実績となった。	スポーツ推進委員が高齢化しており、かつ事業への参加者が固定されていることから、若い世代のスポーツ推進委員の確保と現推進委員への事業参加の促進が必要となる。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	271
2	○	市民総スポーツ運動費	学校の体育施設を一般開放することで、市民がスポーツを行う場を確保する。	学校施設の一般開放によるスポーツ振興 ・一般開放 56施設(小中学校体育施設)	学校体育施設設置予約及び鍵の管理をシステム化し運用することで、市民が手軽に施設予約できるようになるなど、スポーツに触れる機会の増加を図ることができた。	学校施設開放事業の周知を広め、多くの市民がスポーツに取り組む環境が提供できるよう制度整備や市民ニーズに合ったルール改正に努めていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	272
3	○	市民体育祭開催費	本市最大のスポーツ大会「鳥取市民体育祭」を開催することで、生涯スポーツの振興や活力ある地域づくりを推進する。	鳥取市民体育祭の開催 ・競技数 20種目 ・参加地区 44小学校区 ・参加者 延べ10,425人	各校区対抗で競技を実施し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに地域活性化を図ることができた。	市民ニーズに応じた競技を開催するなど、より多くの校区・市民が参画できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提供とともに地域活性化を図っていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	272
4	○	スポレク祭開催費	誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心として開催され、ライフステージに応じたスポーツ推進を図る。	・鳥取市スポーツ・レクリエーション祭の開催 日程：令和6年9月1日～9月29日 グラウンド・ゴルフ、ベタング、ゲートボール、ウォーキング、ドッジボール、バウンスボール、ラージボール卓球、バウンドテニス、ソフトバレーボール、羽根っこゲーム、モルック、ポッチャ、ニュースポーツ体験会、ボウリング、スケートボード 計15種目 732人	15種目732人がスポーツに取り組み、仲間づくりや健康寿命の延伸など、ライフステージに応じたスポーツ振興に貢献した。	鳥取市スポーツ・レクリエーション祭は、スポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、健康で明るい生活を送るため、積極的にスポーツ活動に参加していただきスポーツ振興を図ることを目的としており、陣かいの有無を問わず若者男女が取り組める競技会である。ルールがやさしく、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめる競技会であることを広くアピールし、多くの参加者を募っていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	273
5	○	麒麟のまち交流スポーツ大会事業費	アマチュア団体が開催するスポーツ大会及びイベントに対し支援を行うことで、民間活力を活用した麒麟のまち圏域のスポーツ振興を図る。	・鷺峰山麓ハーフマラソン【1,000円】 日程：令和6年11月10日 参加：981人	鳥取市麒麟のまちスポーツ振興事業補助金の交付対象として採択された1事業が実施された。スポーツに親しみ機会の創出を支援し、麒麟のまち圏域内のスポーツ振興や地域活性化につながった。	本市の補助金等については、合規性・経済性・公益性・妥当性の観点から事業内容の分析・評価を行っており、本補助金については、所期の目的を達成し、令和6年度をもって終了とする。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	273
6	○	ガイナーレ鳥取力向上事業費	鳥取県唯一のプロサッカーチーム「ガイナーレ鳥取」がAxisバードスタジアムで試合する際に各種事業を実施することで、本市の賑わい創出を推進する。	「ガイナーレ鳥取」を活かした賑わい創出 ・ホームゲーム開催時の総合的な交通対策(シャトルバス、街なか駐車場の利用促進等) ・市の情報発信 4回実施 ・飲食ブースの出店支援 バードスタジアム開催14試合分	バードスタジアムにて開催されるホームゲームの際に、交通対策や飲食ブースの出店支援を行うことで、アウェーへのPR、ガイナーレサポーターの満足度向上と集客力強化を図ることができた。	プロスポーツチームの存在は見る・する・支えるという多角的な観点からスポーツへの関心を上昇させるだけではなく、本市への賑わいと経済効果をもたらすことが考えられるため、引き続き多くの誘客に向けた事業に取り組む。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	274

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6~7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
7	○	子どものこころづくり支援 「夢の教室」事業費	スポーツや文化、芸術の分野で活躍した著名人等を「夢先生」として迎え、小学5年生及び中学2年生を対象に「夢の教室」を開催する。	夢の教室の開催 ・実施 22クラス	本事業の実施により、学校で学ぶことができない貴重な体験をすることで、夢を持つことや仲間と協力することの大切さ等を学ぶ機会を創出することができた。	より多くの学校で実施できるよう事業の周知に努め、今後も本事業を通じて、夢を持つことの大切さや仲間との協力など、子どもたちの豊かなこころづくりを支援する。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	274
8	○	東京オリ・パラレガシー継承事業費	東京オリンピックのホストタウン事業やキャンプ地誘致・運営のノウハウを活かし、今後のスポーツ交流やスポーツツーリズムの振興を図る。	・パラスポーツ選手を招へいし、講演会及び体験会を実施した。また、聴覚障がい者を対象とした鳥取市民体育館トレーニングルーム利用講習会を実施した。 ・東京2025世界陸上にかかるジャマイカ選手団事前キャンプに際し、県内の機運醸成およびジャマイカ選手団応援のためのパブリックビューイングを企画するにあたり、会場の予約や放送の権利関係の確認を行った。	・パラスポーツへの理解を深めるとともに、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに取り組める環境を整備し、障がい者スポーツの推進を図ることができた。 ・県内で事前キャンプを行うジャマイカ選手団のパブリックビューイングを企画することにより、大会開催時における県内の機運醸成への準備を行うことができた。	東京オリ・パラレガシー継承事業費としては、令和6年度をもって終了とする。 ・令和7年度は、市民総スポーツ運動費の中で鳥取市民体育館トレーニングルーム利用講習会を実施する。 ・令和7年度は、ジャマイカ選手団と市民の交流および市内の機運醸成のため、ジャマイカ選手団による保育施設等の施設訪問、観光体験、パブリックビューイングを実施する。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	275
9	○	市民体育館管理費	旧市民体育館の老朽化に伴い、市民体育館等あり方検討委員会や市民政策コメント等の結果を経て、「鳥取市民体育館再整備基本計画」を策定し、PF1方式により整備を進め、令和2年度より再整備事業に着手し令和5年6月に開館。民間事業者のノウハウに基づく管理・運営を実施している。	毎月、定例会を開催し、事業者のセルフモニタリングの内容を含め、運営や維持管理の実施状況についてモニタリングを実施した。	スポーツ振興の拠点施設として、さらなる利用者の拡大、稼働率の向上を図る。	利用の増加に伴い、要望や苦情も増えてきていくが、モニタリングを通して、事業者と課題を共有しつつ、適切な維持管理運営を行っていく。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課	277